

第1学年 図画工作科学習指導案

指導者 阿部 ゆか

I 題材名 ゆめのどうぶつランドへようこそ！（立体）

II 単元の指導構想

1 学習指導要領に示されている指導目標及び内容

指導要領（第1学年及び第2学年）より、本題材設置にかかわる事項を以下のように記した。

(1)指導目標	(1) 進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。 (3) 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。
(2)指導事項	A表現 (2) 感じたことや想像したことを絵や立体に表す活動を通して、次の事項を指導する。 ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと。 イ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつかって楽しんだりしながら表すこと。 ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。 B鑑賞 (1) 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。 ア 自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ること。 イ 感じたことを話したり、友人の話の聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。
(3)共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。 イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

2 題材について 本題材は、紙のあき箱を主材料にして想像を広げ、あき箱の形や色、大きさ、ふたの開き方などの特徴を生かし、想像を広げ、つなげたり組み合わせたりするなど、思いついた動物をつくる活動である。完成後は、友だち同士、互いの作品で遊ぶことを通して認め合ったり、他の学級を招待したりする活動へと発展させていく。 前題材「ひかりのくにのなかまたち」では、光の透過性をいかしてきれいな色を見つけたり、気に入った動物をつくったりする活動を行った。その活動を受けて本題材では、さらに自分なりに想像したゆめの動物を形や色などを工夫してつくらせていきたい。 さらに、2学期に行う「ゆめのまちさんちようめ」（工作）にもつなげ、想像した町に、本題材でつくったゆめの動物を登場させていくなど、さらにダイナミックな活動に展開させていきたい。	3 子どもについて 子どもたちは、授業の中で周りの人、物、環境などに体ごとにかわり全身で感じるなど、対象と一体となって活動をする様子が見られる。つくりながら考えたり、結果にこだわらず様々な方法を試したり、発想が次々と展開したりするなどの様子も見られる。その際には、友達とかかわりながら活動を進めている。 しかしながら、語彙が少ないために友達によさを十分に伝えられなかったり、表現などが多岐にわたりすぎ、共通の視点で作品を認め合えなかったりする姿がみられる。 そこで、本題材では、鑑賞と見つけ直しをし、互いのよさを味わわせるようにする。そして、友達とかかわりの中で新たな発想や構想をふくらませることができるようしていきたい。
4 復興教育（3つの教育的価値）との関連 (1) 生命や心について【いきる】 「③【価値ある自分】」とのかかわり 鑑賞と見つけ直しをすることで、自分の活動をたのしみと共に、友達の活動のよさや工夫にも目を向け、友達の活動に対しての励ましやアドバイスなどのやりとりができるようする。そのかかわりからさらに、自分の作品のよさに気付くようにする。 (2) 人の絆の大切さ地域づくり社会参画【かかわる】 「⑨【仲間や地域の人々とのつながり】」とのかかわり 教室環境の工夫をし、つくった動物同士と一緒に遊ぶというような活動に発展させる。友達とかかわりの中から互いに交流することを工夫することでかかわりが自然にうまれるようにし、互いのよさを認め合ったり、自分の思いをもちながら新たな新たな発想や構想をもてるようにする。	

III 単元の指導計画

1 目標

あき箱の色、形、大きさなどの特徴を生かしながら、あき箱を使って思いついたゆめの動物をつくったり遊んだりすることを楽しんでいる。

2 評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
あき箱を主材料にして自分の表したいものをつくることを楽しもうとしている。 (観察)	自分の表したいものを思い付いたり、つくりながら新しい形を考えたりしている。 (観察・発言)	手を働かせて材料や用具を使いながら、箱の使い方や飾り方などを工夫している。 (観察・作品)	自分が感じたことを話したり、友達の話を聞いたりしながら、作品の形や色、イメージなどに気付いている。 (観察・発言)

3 指導計画

時	学習活動	研究の視点 「鑑賞と見つけ直し」の 位置付けとその内容	指導上の留意点（・） 評価【 】	材 料 具 用 具
1 題材の導入	1 あき箱の特徴をもとに、 つくりたい動物のイメージをもつ。 (1) ゆめの動物とどんなことをして遊びたいのかを話合う。 (2) どのようなあき箱が動物のどのような部分になるか想像し発表し合う。 (3) あき箱や身近な材料の特徴をもとにして、動物に見立てた組み合わせ遊びをする。	① 鑑賞と見つけ直し ・ 教師のつくり途中の作例を提示し鑑賞させる。 ・ 想像したものを基にして組み合わせたり、組合わせたものから想像したりして様々な操作をしながら、どのような動物がいたらよいか空想遊びをさせ、つくりたい動物のイメージがもてるようにする。	・ 「ゆめ」という言葉に着目させることで、既成概念にとらわれず、空想の世界を楽しませる。 ・ あき箱や材料のどの部分が動物のどの部分になりそうか、発表し合わせることで、発想や構想のきっかけをつくる。 【発】 あき箱の形や大きさ、色などからつくりたい動物などを思いついている。	あき箱 作例
2 3 題材の展開	2 思いを広げながら材料の特徴を生かして表し方を工夫してつくる。 (1) あき箱や材料をつなげたり組合わせたったりしながら、自分がつくりたい動物をつくる。 (予想される表し方の工夫) ・ つなげる・つける ・ 組合わせる ・ 仕組みをつくる ・ 切る 4 5 本時	② 鑑賞と見つけ直し ・ 製作途中の作品で友達と遊びながら鑑賞させることにより、ゆめの動物にするための目的意識をもてるようにする。 ・ 鑑賞の視点を「友達のよいところ」として、話し合いの中でだされたよさを教師が整理し、板書に位置付けることで視点の整理を行う。 ・ 自分の思いを実現するための全体での話し合いを行い、「形や色」「イメージ」を具体的にもてるように見つけ直しをさせる。	・ はさみやセロハンテープなどの用具の使い方について確認し、安全面に配慮する。 【創】 表したいことを表すためにつなげたり組合わせたったりしながら表し方を工夫している。 【関】 あき箱を主材料にしてつくることを楽しんでいく。	あき箱 はさみ セロハンテープのり
6 題材の終末	3 作品を見せ合い、表現のおもしろさやたのしさを感じ取る。 (1) つくった動物を持ち寄って、互いの作品で遊びながらそのよさを認め合う。	③ 鑑賞と見つけ直しを位置付ける。 ・ 友達と遊びながらその楽しさを存分に味わわせるために場の設定を工夫する。 ・ 友達とかかわり合って遊んだ後に題材を通した見つけ直しをさせることで楽しさを実感させ、次の題材への意欲化を図る。	・ ゆめの動物のランドをつくる想定で、互いの作品で遊びながら、空想の世界に浸らせ、それぞれの表現の面白さや楽しさを味わえるようにする。 【鑑】 作品で実際に遊んだり説明したりしながら、互いの表現や材料の使い方の面白さ、楽しさなどに気付いている。	あき箱 紙皿 色紙 セロハン綿糸 はさみ セロハンテープのり 動物ランドの場

自分の思いをもちながら表現を追求する子どもが育つ授業

－発想や構想をふくらませる鑑賞と見つめ直しを通して－

〈手立て1〉 題材の中での、鑑賞と見つめ直しを位置付ける。



本時は

○ 導入場面での遊びを通じた鑑賞

導入において、製作途中の動物で友達と遊びながら鑑賞することにより、作品をもちよってゆめの動物ランドをつくるという共通の目的意識をもてるようにする。

そのために、友達同士で自由に話をしながら遊ぶことができる場を設定する。場を設定する際には、段差を付けた山や川に見立てた場所をつくったりして、子どもたちが空想の世界に浸れるようにする。

また、友達と十分にかかわりをもてずにいる子どもには、教師が作例を用いながら話しかけることで、子どもの思いを引き出すようにする。

〈手立て2〉 鑑賞と見つめ直しの視点を明確にする。



本時は

遊びを通じた鑑賞での児童の予想される姿

- ・ かくれんぼしようよ。
- ・ 海で泳ごうよ。ザブン。
- ・ 空を飛んだら気持ちいいね。
- ・ 一緒にお散歩に行こう。
- ・ 高いところからジャンプしよう。
- ・ おいしいごちそうを食べよう。
- ・ 大きいゾウさんだね。上に乗せてちょうだい。
- ・ 羽がふさふさしていてかっこいいね。どうやってつくったのかな。



遊びを通じた鑑賞をさせた後に、教師の手立てにより見つめ直しをさせる。

見つめ直しでの児童の予想される姿

- ・ 草に隠れやすいように緑色にしよう。
- ・ 深く潜るには魚みたいなしっぽをつくらなくちゃ。
- ・ お散歩に行くためにバッグをつくらう。
- ・ 足を長くしたらジャンプできそうだ。
- ・ もぐもぐ食べられる丈夫な歯が必要だな。
- ・ お友達を乗せるためには素敵なすがほしいなあ。
- ・ 羽は一枚一枚つくとよいのだな。やってみよう。

教師の具体的な手立て

- 鑑賞の視点を与える。
遊びを通じた鑑賞の際には、「友達のよいところ」を鑑賞の視点として子どもに与える。
- 鑑賞後の話し合いにおいて、板書によって視点を整理する。
子どもの発表から出された「友達のよいところ」を教師が「形や色」「イメージ」に整理して板書に位置付けることにより、子どもが自分の作品の見つめ直しの視点にできるようにする。
 - ・ 大きな羽がかっこよかったです。 → 形
 - ・ ピンクの体にしていてかわいらしかったです。 → 色
 - ・ ふんわりした感じがよかったです。 → イメージ
- 見つめ直しのための視点を与える。
 - ・ 鑑賞をしたことをもとに、「形や色」「イメージ」について自分の作品を見つめ直すことができるように発問を吟味する。
 - ☆ ゆめの動物ランドでさらにどんな遊びをしてみたいですか。
 - ☆ そのためには、さらにどんな工夫をしてつくっていきますか。

V 本時の指導計画

1 目標

- 発想や構想をふくらませて、それに合った表し方を工夫してつくることができる。

2 評価規準

【発想や構想の能力】

つくりたい動物の特徴を自分なりに考えながら、材料を選んだり、使い方を構想したりして、さらに思いを広げている。

- ・ 十分満足できると判断される状況
表したい動物のイメージを十分にふくらませ、空想を豊かに広げてたのしんでいる。
- ・ 努力を要すると判断される状況の子どもへの支援
子どもが自分の作例に自己を投影しながらつくりつけられるように、作例で用いたゆめの動物を教師が動かしながら語りかけ、子どもの思いを引き出すようにする。

【鑑賞の能力】

遊びを通して友達によさについて感じたことを話したり、友達の話の聞いたりしながら、作品の形や色、イメージなどに気付いている。

- ・ 十分に満足できると判断される状況
互いの作品で実際に遊んだり説明したりしながら、表現や材料の使い方のおもしろさ、たのしさなどに気付いている。
- ・ 努力を要すると判断される状況の子どもへの支援
鑑賞の際には、教師から表現や材料の使い方のおもしろさを子どもへ伝えたり、友達とかかわれるような場へ促したりする。

3 展開

段階	学習過程	学習活動	時間	研究にかかわる手立て	留意点と評価
導入	鑑賞 話し合い 見つめ直し 課題把握	1 つくり途中のゆめの動物で遊びながら互いの作品を鑑賞する。 2 鑑賞したことから友達の作品のよさについて話し合う。 3 自分の作品を見つめ直す。	15	<p>手立て1 鑑賞と見つめ直しを位置付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが自由に遊べる場を設定することにより、楽しく会話をしながら鑑賞できるようにする。 <p>手立て2 鑑賞と見つめ直しの視点を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何について鑑賞をしたらよいのかがわかるように具体的な鑑賞の視点を示す。 <p>【視点】友達のよいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合ったことを形や色、イメージに教師が整理して板書に位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達とかかわりがもてずにいる子どもには、教師が作例を持ちながら話しかけたり、場へ促したりする。 <p>鑑 実際に遊んだり説明したりしながら、表現や材料のおもしろさ、たのしさなどに気付いている。</p> <p>【観察】</p> <p>発 自分の作品を見つめ直し、形や色、イメージを基に新たな発想や構想を広げることができたか。</p> <p>【発表】</p>
		つくり方を工夫するとどんなゆめの動物ができるかな。			
展開	表現	4 自分のつくりたいものに合った材料を選びつくりかたを工夫してつくる。	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ つくりたい形や色、イメージになるように、活動のキーワードを掲示を活用し、提示する。 <p>【活動のキーワード】</p> <p>「切る」「仕組みをつくる」「組み合わせる」「つなげる」「つける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つくりたい形や色、イメージになるように材料コーナーを設定し、材料にも目を向けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具の扱い方については掲示を使用し、活動の中で個別に指導する。 ・ つくりながら遊ぶことができるような場の設定をする。
終末	振り返り 後片付け	5 本時の振り返りをする。 6 後片付けをする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びを通して楽しませることで、活動の満足感を味わわせる。 ・ 安全に気を付けながら片付けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面に配慮し、片付ける場所を明確に示す。